

目も眩むような色彩!

3人のピアニストが2台ピアノで奏でる
ドビュッシー『海』



モーツァルト
ピアノソナタ KV545
(グリーグによる2台ピアノ版) ◆◆

モーツァルト
幻想曲 KV475
(グリーグによる2台ピアノ版) ♪◆

ドビュッシー
『牧神の午後への前奏曲』
(作曲者による2台ピアノ版) ♪◆

ファリャ
交響的印象『スペインの庭の夜』
(サマズイユによる6手2台ピアノ版) ◆◆

ドビュッシー
3つの交響的素描『海』
(カブレによる6手2台ピアノ版) ◆◆

【演奏者】
青柳いづみこ ♪ / 森下唯 ◆ / 田部井剛 ◆

2月20日(土) [昼]開演14:00(開場13:30)
[夜]開演18:00(開場17:30)

演奏：青柳いづみこ 森下唯 田部井剛

チケット：全席自由 昼・夜：各4,000円
フォームよりお申し込みください→



Hakuju Hall



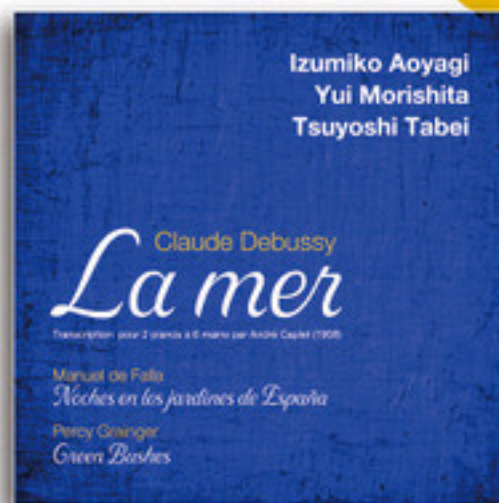
〒151-0063
東京都渋谷区富ヶ谷 1-37-5
(株)白寿生科学研究所
本社ビル7F

- 代々木八幡駅 南口より徒歩8分
(小田急線)
- 代々木公園駅 出口1より徒歩5分
(千代田線)

お問い合わせ supporter@ottava.jp
主催：OTTAVA 株式会社
https://ottava.jp

ドビュッシー 6手2台ピアノのための
3つの交響的素描『海』

New
Release



- クロード・ドビュッシー
3つの交響的素描『海』
[アンドレ・カブレによる6手2台ピアノ版]
- 1 第1楽章 海上の夜明けから真昼まで
 - 2 第2楽章 波の戯れ
 - 3 第3楽章 風と海の対話
- マヌエル・デ・ファリャ
交響的印象『スペインの庭の夜』
[ギュスターヴ・サマズイユによるピアノ版編曲]
- 4 ヘネラリーフェにて
 - 5 遙かな隔り
 - 6 コルドバの山の庭園にて
- パーシー・グレインジャー
7 『緑の茂み』

OTTAVA-10005 ¥3,000+税
発売元：OTTAVA Records
販売元：株式会社キングインターナショナル

この公演は、令和2年6月11日にクラシック音楽公演運営推進協議会が策定したガイドラインに基づいて運営されています。会場での検温・消毒等を求める場合がありますのでご了承ください。ご来場の際はマスクをご着用ください。



青柳いづみこ ピアニスト・文筆家

安川加壽子、ピエール・バルビゼの各氏に師事。マルセイユ音楽院首席卒業。東京芸術大学大学院博士課程修了。平成2年度文化庁芸術祭賞。演奏と執筆を両立させる希有な存在として注目を集め、著作は30点、CDは20枚を数える。15枚が「レコード芸術」誌で特選盤となるほか、師安川加壽子の評伝「翼のはえた指」で吉田秀和賞、祖父の評伝「青柳瑞穂の生涯」で日本エッセイストクラブ賞、「6本指のゴルトベルク」で講談社エッセイ賞、CD「ロマンティック・ドビュッシー」でミュージックペンクラブ音楽賞。2014～18年には、ドビュッシー生誕100年に向けて5回にわたるカウント・ダウンコンサート開催。2020年には演奏生活40周年記念企画を昼夜にわたって開催した。『ラ・フォルジュルネ音楽祭』、NHK『らららクラシック』等にも出演。日本ショパン協会理事、日本演奏連盟理事、大阪音楽大学名誉教授。

公式サイト：<https://online-l.net> 公式 Facebook ページ：<https://www.facebook.com/aoyagi.izumiko>
Twitter：<https://twitter.com/AZxeKovhCoEd6s0>

Izumiko Aoyagi

森下唯

ピアニスト・作編曲家

クラシック分野を中心に演奏活動をするほか、スタジオ・ミュージシャンとしても多くのレコーディングに参加。ほか、映像作品への楽曲提供や文筆など幅広く手がけている。2015年よりアルカン作品を集めたCD「アルカンピアノ・コレクション」(ALM RECORDS)シリーズをリリース、「レコード芸術」誌をはじめ各所で高く評価されている。NHK FM「きらクラ!」、テレビ朝日系列「題名のない音楽会」等のメディアにも出演。動画サイトでの活動から誕生した「ピアニート公爵」名義ではゲーム、アニメの公式アレンジアルバム等で多くの編曲、演奏を担当。東京芸術大学卒業、同大学大学院修了。2004年、第2回東京音楽コンクールピアノ部門第2位。調布国際音楽祭アソシエイト・プロデューサー。東京芸術大学非常勤講師(指揮科演奏研究員)。

Yui Morishita



Tsuyoshi Tabei



田部井剛 指揮者・ピアニスト

早稲田大学商学部卒業、東京音楽大学指揮科研究生修了。東京芸術大学指揮科卒業。芸大在学中には、巨匠エリック・ハイドシェック氏とマルセル・アラノワ作曲「5月の協奏曲」を日本初演、日本フィルハーモニー交響楽団を指揮。氏より「ヤング・トスカニーニ」と称賛される。氏とは度々共演し、2005年、カメラータ・ジオンを率い、ハイドシェック氏と国内ツアーを行った際のライブ録音が、仏アンテグラル社よりリリースされている。これまでに新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラ等を指揮。名門ターリヒ室内管(ブラハ)とはモーツァルトの交響曲のレコーディングを行っている。指揮者として活動する傍ら、ピアニストとしても活躍し、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団元首席チェロ奏者、故ドレシャル氏等、著名なアーティストと共演を重ねている。